

保護者の皆様

札幌市立幌南小学校
校長 大宮 健一

令和6年度 文部科学省「全国学力・学習状況調査」の結果について

今春に実施されました標記調査の結果につきまして、三者教育相談の中で該当学年の6年生に個票を配付し、現状と今後の取組について三者で共有させていただきます。このたび、校内での分析を終え、本校全体の児童の課題や改善の方向について下記のとおりまとめましたので、お知らせいたします。

【全国の平均正答率と比較して、以下の規準でお伝えします。】

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ・+3.1ポイント以上 | ⇒「上回っている」 |
| ・+3.0ポイントの範囲内で全国平均以上 | ⇒「ほぼ同程度であるが、やや上回る」 |
| ・全国平均と同じ | ⇒「ほぼ同程度」 |
| ・-3.0ポイントの範囲内で全国平均以下 | ⇒「ほぼ同程度であるが、やや下回る」 |
| ・-3.1ポイント以下 | ⇒「下回っている」 |

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

国
語

【領域】

- ☐言葉の特徴や使い方に関する事項
全国平均を上回っている
- ☐情報の扱い方に関する事項
全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。
- ☐我が国の言語文化に関する事項
全国平均を上回っている。
- ☐話すこと・聞くこと
全国平均を上回っている。
- ☐書くこと
全国平均を上回っている。
- ☐読むこと
全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。

- 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。
- 事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
- 漢字を文の中で正しく使うこと。
- 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。

- 相手や目的を意識し、どのような資料を用意すればよいかを考えることができるようにする。
- 文章を書く際には、事実、感想、意見を区別して書くことができるようにする。
- 学習した漢字を文や文章の中で使うことができるようにする。
- 物語文においては、登場人物の行動や会話、情景などを暗示的に表現されている表現の仕方にも着目できるようにする。

算
数

【領域】

- ☐数と計算
全国平均を上回っている。
- ☐図形
全国平均を上回っている。
- ☐変化と関係
全国平均を上回っている。
- ☐データの活用
全国平均を上回っている。

- 直方体の見取図について理解し、かくこと。
- 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。
- 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述すること。

- 見取図や展開図のかき方を理解できるようにする。
- 速さなど単位量当たりの大きさの意味や表し方について理解し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察できるようにする。
- データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察できるようにする。

《全国平均より肯定的な回答が上回っている項目》

【自分自身・他者との関わりに関すること】

- ☐ 自分には、よいところがあると思いますか。
- ☐ 人が困っているときは、進んで助けていますか。
- ☐ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- ☐ 学校に行くのは楽しいと思いますか。
- ☐ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- ☐ あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。

⇒自分自身が自分のよいところに気付いたり、友達のよさを認めて尊重したりする意識が高い傾向が見られます。「学校に行くのは楽しい」と感じている児童の割合は全国平均に比べて顕著に高く、集団生活の場において友達関係や学級で話し合う機会を大切にしながらよりよくしていこうとする意識が伺えます。今後も学校生活全体を通して自己肯定感を高めるとともに、他者への思いやりの気持ちを育めるようにしていきます。

【学習に関すること】

- ☐ 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。
- ☐ 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。
- ☐ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。
- ☐ 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。

⇒学習に対して主体的に取り組む姿勢や学習したことを他の学習に生かそうとする姿勢が伝わる結果となりました。昨年度から「子どもが創る学び」を目指して子ども主語を意識しながら課題探究的な学習になるように授業改善に取り組んでいる成果と言えます。子どもが学ぶ楽しさや意味を感じられるよう、引き続き学習指導の改善に努めてまいります。

《全国平均より肯定的な回答が下回っている項目》

- ☐ 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。
- ☐ 将来の夢や目標を持っていますか。
- ☐ 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。
- ☐ 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。

⇒決めたことを守って行動する、自分で考えて決めて取り組むことに課題が見られます。学校生活においては、自分で目標を立てて取り組み、行動し、振り返るという過程を大切にすることで、目標をもつ大切さや困難なことに対しても挑戦していく態度を育成していきます。